

外国人技能実習生 受け入れ開始

「SS業界も積極的雇用を」

亀井商事

【名張市・三重】亀井商事(ENEOS系・本社名張市・亀井喜久雄社長)では、外国人技能実習生の受け入れを始めた。人手不足の改善に向けた初の試みで、今回ベトナム人の青年2人を雇用。整備工場のスタッフとして研修中で、亀井社長は「2人とも素直で面白い。今後の成長に期待している」と話す。

実習生は、いずれもベトナム国籍のホアン・ティエン・ズンさん(18歳)とレ・ニュット・ナムさん(22歳)。ともに整備経験のない新人で、4月に入社したばかりだ。日本語については、昨秋から語学研修に取り組んでいたため、日常的な意思疎通に問題はない。2人は同社が用意した宿舎で生活しながら日々仕事に励んでいる。

就業場所は、同社の系列整備工場「ジョイオートサービス青山店」。現在は見習い研修生で、先輩スタッフに従つて仕事の内容や具体的な手順などの基本を一から徹底的に学んでいる段階だ。

同社によると、仕事をや生活、日本の文化など、異国で始まった新しい感覚に戸惑う場面も多いというが、2人は「楽しい。頑張ります」と笑顔を見せる。

亀井社長も「困ったことがあつたら日本の父親として頼るよう言ってある。全面的にサポートするので、3年間の研修期間で高い整備技術を身につけてもらえば」と期待する。さらに、「研修後も日本に定住し、できればSS業界を支えてほしい。いずれにせよ、これからSS業界も外国人

を積極的に雇用していく時代だと関係者は認識すべきだ」と強調する。

東海・北陸版

名古屋支局

〒450-0002
名古屋市中村区名駅5-4-14
花車ビル北館3階
電話052(582)5826
FAX052(561)3230



外国人技能実習生の(左から)ズンさんとナムさん